

オーディオディレイボックス

AD-100M



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

| | |
|---------------------------|----|
| <u>サポート窓口</u> | 1 |
| <u>内容物</u> | 2 |
| <u>概要</u> | 2 |
| <u>特長</u> | 2 |
| <u>各部の名称と機能 : フロントパネル</u> | 3 |
| <u>各部の名称と機能 : リアパネル</u> | 4 |
| <u>メニューの設定</u> | |
| 1.AUDIO_DELAY | 5 |
| 2.DELAY_TIME | 5 |
| 3.ATTENUATION | 6 |
| 4.TONE_OUT | 6 |
| 5.TONE_MODE | 7 |
| 6.TONE_LEVEL | 7 |
| 7.RESET_ALL | 8 |
| 8.SOFTWARE_VERSION | 8 |
| 9.ESCAPE | 8 |
| <u>設定例</u> | 9 |
| <u>仕様</u> | 10 |

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-5 HS 関内 202

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

| 番号 | 品目 | 数量 |
|----|--------------------------------------|----|
| 1 | オーディオディレイボックス(AD-100M) | 1 |
| 2 | AC/DC 変換アダプター(AC ケーブル付)DC 12V / 2.0A | 1 |
| 3 | 取扱説明書(本書) | 1 |

概要

AD-100M は、使いやすい音声ディレイボックスです。映像と音声を簡単に同期させることができます。また、AD-100M は、1KHz のトーン信号ジェネレーター(発生器)としても利用できます。AD-100M は、一般的なピンジャック(RCA)とプロ用の XLR(キャノン)コネクタの両方を備えています。筐体は頑丈な金属製で屋外でもスタジオでも利用できます。

特長

- 音声入力:
 - 平衡型音声(XLR) × L/R 各 1 系統(50K Ω)
 - 不平衡型音声(RCA) × L/R 各 1 系統(50K Ω)
 - マイクフォン入力(XLR) × 1 系統(2k Ω ファンタム電源+48V)

- 音声ディレイ出力:
 - 平衡型音声(XLR) × L/R 各 1 系統(600 Ω)
 - 不平衡型音声(RCA) × L/R 各 1 系統(300 Ω)

- メニュー、および、モード設定用液晶ディスプレイ
- 音声信号の減衰量は、0 ~ -60 dBu
- 音声のディレイ(遅延)は、0 ~ 700 ミリ秒
- 1KHz テスト用のトーン信号出力レベルは、+26 ~ -34 dB
- 入力電源は DC 12V
- 出力のバランス、アンバランスは同時に出力できるのでバランス ⇄ アンバランスコンバーター付 2 分配器としても使用できます。

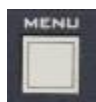
各部の名称と機能

フロントパネル



電源スイッチ

電源の ON / OFF を切替えます。



メニューボタン

本スイッチはシステム設定用の 9 つのモードにアクセス可能です。

※メニューボタンを押してアジャストダイヤルで選択

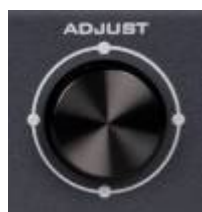


モードボタン

液晶ディスプレイに表示する情報です。レベルまたは時間を選択します。

レベル側 : 入力レベルメーター(dBu)

タイム側(デフォルト) : デイレイ設定とアッテネーションの値を表示



アジャストダイヤル

ダイヤルを回して項目を選択した後、ダイヤルを押す事によって設定を確定させる事が出来ます。

※設定の内容については、メニュー設定をご参照ください。(P5)

リアパネル



音声出力コネクタ

平衡型音声(XLR)出力コネクタ×L/R 各1系統 (600Ω)
不平衡型音声(RCA)出力コネクタ×L/R 各1系統 (300Ω)



音声入力コネクタ

平衡型音声(XLR)入力コネクタ×L/R 各1系統 (50KΩ)
不平衡型音声(RCA)入力コネクタ×L/R 各1系統 (50KΩ)

※各音声入力端子に接続すると、接続した全ての音声が入力されます。



マイクロフォン入力

平衡型音声(XLR)入力コネクタ 1系統 (2kΩ ファンタム電源+48V)

※各音声入力端子に接続すると、接続した全ての音声が入力されます。
※マイクロフォン入力の音声はL・Rからそれぞれ同じ音声が入力されます



マイクロフォンスイッチ

ファンタム電源 ON (48V) / OFF / MIC OFF



ゲイン切替スイッチ

3段階切替 (20/40/60 dB)



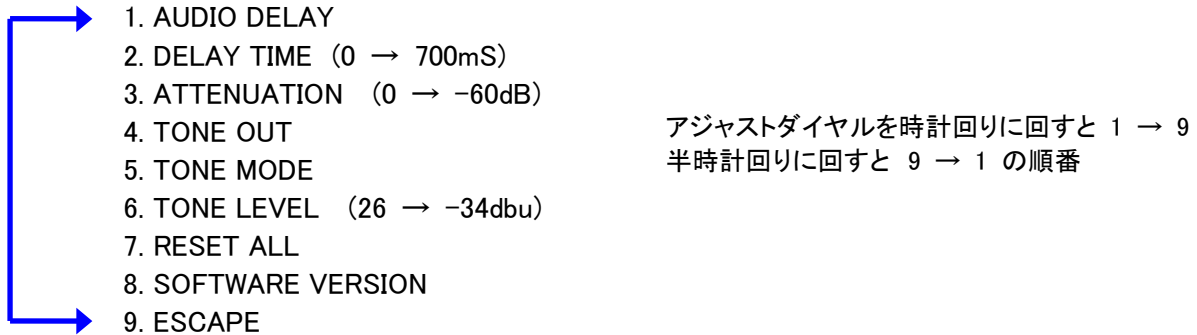
DC 電源入力

付属の電源アダプター(DC 12V/2.0A)のプラグをこの端子に差し込みます。
プラグを端子に接続し、外側のリングを回して固定することにより、プラグが外れるのを防ぎます。

メニューの設定

※ 操作は 12 秒以内に行ってください。自動的にメニューモードが終了します。

メニューを選択し、アジャストダイヤルを回すと下記順番に表示されます。



1. AUDIO_DELAY

本設定により、音声_ディレイ機能の ON / OFF を切替えます。

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニューボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、AUDIO_DELAY の設定を ON または OFF を選択します。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

2. DELAY_TIME

本設定では、音声のディレイを 10 ミリ秒ずつ最大 700 ミリ秒まで設定できます。

注意: 1000 ミリ秒 = 1 秒 : 1 フレーム PAL = 40 ミリ秒 : 1 フレーム NTSC = 約 33.333 ミリ秒

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、DELAY_TIME モードを選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニューボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、ディレイ_時間を選択します(0 ~ 700 ミリ秒)。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

3. ATTENUATION

本設定では音声出力の減衰量を設定します。

0dB=減衰量 0、-60dB=減衰量大

注意: AD-100M は音声ディレイ用の機器ですが、トーン信号ジェネレーターの機能もあります。

(AD-100M に直接ヘッドセットやスピーカーを接続するなど、オーディオアンプとしての利用はおやめください。)

- メニュー・ボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、ATTENUATION モードを選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニューボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、ATTENUATION を選択します(0~-60 dB)。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

4. TONE_OUT

本設定により、トーン_出力機能の ON / OFF を切替えます。

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、TONE_OUT モードを選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニュー・ボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、トーン_出力の設定を ON または OFF を選択します。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

注意 テスト用のトーン信号はトーン_レベルのメニューオプションで設定した値で出力されます。テスト用のトーン信号は AD-100M に入力されているソースがある場合は、入カソースにオーバーライドされます。

5. TONE_MODE

本設定により、1KHz のテスト用トーン信号の ON / OFF を切替えます。

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、TONE_MODE を選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニューボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、TONE_MODE の設定の MUTE または 1KHZ を選択します。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

注意 MUTE を選択するとテスト用のトーン信号の音は無音になりますが、AD-100M に入力ソースを供給できなくなります。音声入力ソースに替える場合は、TONE_OUT メニュー・オプションを OFF に戻してください。

6. TONE_LEVEL

本設定ではテスト用のトーン信号出力の大きさを設定します。+26dBu=大、-34dBu=小

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、TONE_LEVEL モードを選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニューボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、TONE_LEVEL を選択します(+26~-34 dBu)。
- アジャストダイヤルを押し、設定の保存、または、選択された設定の確認をします。
- 点滅しているカーソルは、メニューオプションの 1 番目の設定値に戻ります。
- アジャストダイヤルを回し、他の設定を選択するか、モードボタンを押しします。

7. RESET ALL

本機能を使う前に、出力端子に接続されているケーブルはすべて取外してください。

本オプションにより、工場出荷時の初期設定値に戻します。予想よりも大きい音になりますので、ご注意ください。

AD-100M のリアパネルの出力端子にケーブルを接続する前に、必ず設定を変更してください。

注意:AD-100M は音声ディレイ用の機器ですが、トーン信号・ジェネレーターの機能もあります。

AD-100M に直接ヘッドセットやスピーカーを接続するなど、オーディオ・アンプとしての利用はおやめください。

- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、RESET ALL を選択します。
- メニューオプションの 1 番目の設定値にあるカーソルが点滅します。
- メニュー・ボタンをもう一度押し、点滅しているカーソルを設定の位置に移動させます。
- アジャストダイヤルを回し、RESET ALL の設定を NO から YES にします。
- アジャストダイヤルを 2 秒間押すと、工場出荷時の初期設定値に戻ります。
- 設定は NO に戻ります。
- メニューボタン、またはモードボタンを押し、初期設定値を確認します。

| 工場出荷時の初期設定 | |
|------------|-------|
| 音声_ディレイ | OFF |
| ディレイ_時間 | 10ms |
| 減衰 | -0dB |
| トーン_出力 | OFF |
| トーン_モード | 1KHZ |
| トーン_レベル | +4dBu |

8. SOFTWARE VERSION

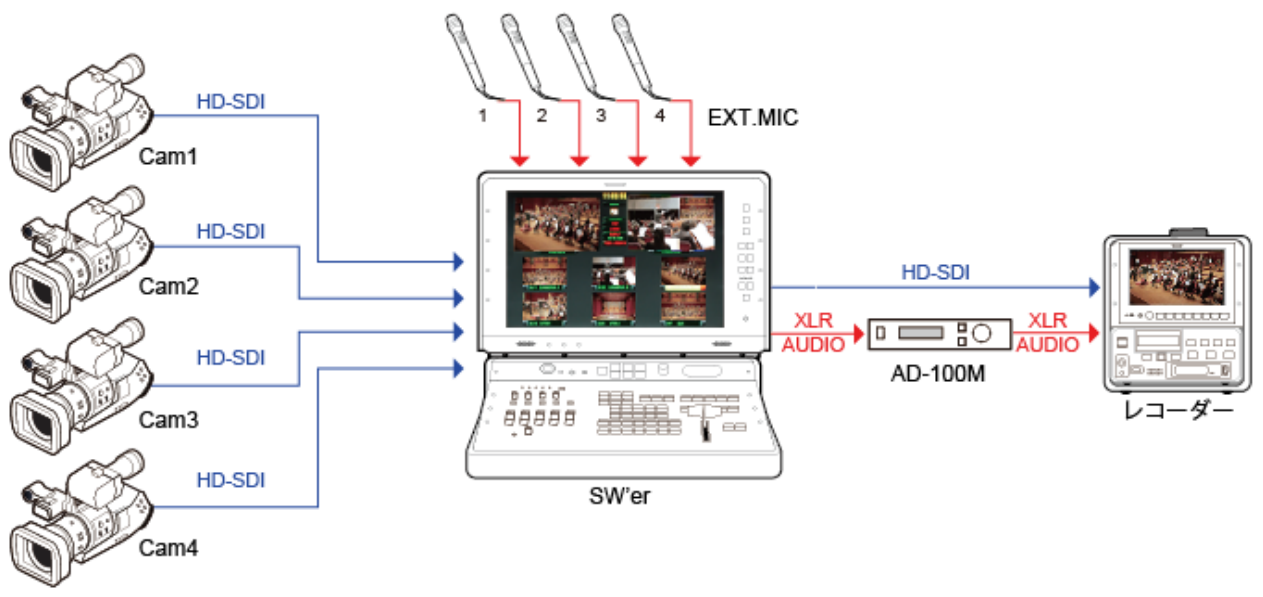
- メニューボタンを押し、システム設定モードにします。
- アジャストダイヤルを回し、SOFTWARE VERSION を選択します。
- AD-100M のファームウェアのバージョンが 12 秒間表示されます。

9. ESCAPE

- システム設定の確認や変更が完了後。
- アジャストダイヤルを回し、ESCAPE を選択します。
- アジャストダイヤルを押すとシステム設定モードを終了します。
- 他の方法として、モードボタンを押すことにより、すぐに、システム設定モードを終了します。

※ESCAPE から設定モードを終了させなくても設定内容は保持されます。

設定例



仕様



| | |
|----------|---|
| 型番 | AD-100M |
| 音声入力 | <p>平衡型音声入力(XLR)×L/R 各1系統(50KΩ) 不平衡型音声入力(RCA)×L/R 各1系統(50KΩ) マイクロフォン入力(XLR)×1系統(2kΩ ファンタム電源+48V) ※各音声入力端子に接続すると、接続した全ての音声が入力されます。 ※マイクロフォン入力の音声はL・Rからそれぞれ同じ音声が入力されます。</p> |
| 音声出力 | <p>平衡型音声出力(XLR)×L/R 各1系統(600Ω) 不平衡型音声出力(RCA)×L/R 各1系統(300Ω) ※XLR(またはRCA)から入力した音声はRCA(またはXLR)からの出力も可能です。 (XLR→RCA、RCA→XLRに変換されます)</p> <p>入力が+4dBu(XLR)の場合、+4dBu(XLR)、および-10dBV(RCA)で出力、 入力が-10dBV(RCA)の場合、+4dBu(XLR)、および-10dBV(RCA)で出力されます。</p> |
| 音声仕様 | <p>音域 : 20Hz~20KHz < ±3dB S/N比 : > 75dB(平衡型、S=4dBu)、> 80dB(不平衡型、S=0dBv) 全高調波歪み : < 0.1% 減衰率 : 0~-60dB</p> <p>※この仕様は本機を正しく使用した場合に有効です。</p> |
| ディレイ調整範囲 | 0~700ms |
| 動作環境温度 | 0°C~40°C |
| 動作環境湿度 | 10%~90%(結露なし) |
| 寸法 / 質量 | 220mm(幅)×42mm(高さ)×211mm(奥行)突起物含まず / 約1.3kg |
| 電源 | DC12V / 18W |

仕様は予告なしに変わることがあります。